安全データシート

この安全データシート は以下の要件に準拠し ている：
JIS Z 7252:2019

発行日 10-20-2023 **改訂日** 10-20-2023 **改訂番号** 1

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 UltraSoniX

登録番号

安全データシート の供給者の詳細
製造者
Echo Ultrasonics® LLC
774 Marine Drive
Bellingham, WA 68225
+1 360-671-9121

緊急連絡電話番号 Chemtel Inc. (International):

電子メールアドレス +1-813-248-0585

化学品の推奨用途及び使用上の制限 sales@echoultrasonics.com

推奨用途 Industrial ultrasonic couplant

使用上の制限 産業用途専用

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

飲えん有害性	分類できない
急性毒性(経口)	分類できない
急性毒性(経皮)	分類できない
急性毒性(吸入) - ガス	区分に該当しない
急性毒性(吸入) - 蒸気	分類できない
急性毒性(吸入) - 粉じん／ミスト	分類できない
皮膚腐食性／刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	区分 2
発がん性	区分 2
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分 1 区分 3
区分 1　血液系、中枢神経系。	
区分 2	
区分 3　標的臓器影響：　麻酔作用。	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分 1
区分 1　中枢神経系、呼吸器。	
区分 2　全身毒性、精巣。	
水生環境有害性　短期(急性)	分類できない
水生環境有害性　長期(慢性)	区分に該当しない
オゾン層への有害性	分類できない

GHSラベル要素



注意喚起語 危険

危険有害性情報
• 遺伝性疾患のおそれの疑い
• 発がんのおそれの疑い
• 眠気又はめまいのおそれ
• 臓器の障害
• 長期にわたる、又は反復ばく 露による臓器の障害
以下の臓器の障害: 血液系、 中枢神経系。
長期にわたる、又は反復ばく 露による以下の臓器の障害: 中枢神経系、 呼吸器。
長期にわたる、又は反復ばく 露による以下の臓器の障害のおそれ: 全身毒性、 精巣。

注意書き
安全対策
• 使用前に取扱説明書を入手すること
• 全ての安全注意を読み理解するまで取り 扱わないこと
• 保護手袋／保護衣及び眼／顔面保護具を着用すること
• 粉じ ん／煙／ガス／ミ スト ／蒸気／スプレーを吸入し ないこと
• 取扱い後は顔、手、露出し た皮膚をよく 洗う こと
• こ の製品を使用するときに、飲食又は喫煙をし ないこと
• 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること
応急措置
• ばく 露又はばく 露の懸念がある場合: 医師の診察／手当てを受けること
• ばく 露又はばく 露の懸念がある場合: 医師に連絡すること
• 特別な処置が必要である(こ のラベルの information を見よ)
• 吸入し た場合: 空気の新鮮な場所に移し 、呼吸し やすい姿勢で休息さ せること
• 気分が悪いときは医師に連絡すること
保管
• 施錠し て保管すること
• 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉し ておく こと
廃棄
• 内容物／容器は都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に依頼し て廃棄すること

他の危険有害性
• 飲み込むと有害のおそれ
• 軽度の皮膚刺激

3. 組成及び成分情報

化学物質 ·混合物の区別 混合物

化学的性質 アルカリ 性水溶液

化学名又は一般名	CAS番号	重量%	化審法インベントリ	化審法番号	安衛法インベントリ	安衛法番号
プロピレングリコール	57-55-6	< 35	既存	(2)-234	既存	2-(8)-321,2-(8)-323
モリブデン酸ナト リウム	7631-95-0	< 2	既存	(1)-478	既存	(1)-478
ポリアクリル酸	9003-01-4	< 2	既存	(6)-898	既存	(6)-898

当製品は、生殖毒性区分2 に分類さ れる成分を0.1%以上3.0%未満含有し ている。

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)
変換係数のデータが無い場合は係数は1 として算出。

化学名又は一般名	政令名称	金属、CN、F、その他	変換係数	含有率 %	区分	政令番号	管理番号
*	アクリル酸重合物			2.0	第1種指定化学物質	1-8	565

* 政令名称を参照

労働安全衛生法
通知対象物質
法第57 条の2 、施行令第18 条の2 第1 号、第2 号別表第9 及び第3号 ·別表第3
危険性又は有害性等を調査すべき危険有害物
法第57 条の3

化学名又は一般名	規則名称	CAS番号	含有率 %	施行日
モリブデン酸ナトリウム	モリブデン及びその化合物	7631-95-0	2.0	

表示対象物質
法第57 条第1 項、施行令第18 条第1号、第2号 ·別表第9 及び第3号 ·別表第3

化学名又は一般名	規則名称	CAS番号	含有率 %	施行日
モリブデン酸ナトリウム	モリブデン及びその化合物	7631-95-0	2.0	

毒物及び劇物取締法
該当しない

4. 応急措置

一般的なアドバイス 治療を行う医師にこのSDSを示すこと。 ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診察／手当てを受けること。

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移すこと。 ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診察／手当てを受けること。

皮膚に付着した場合 直ちに少なくとも15分間水で洗浄すること。 症状が続く場合には、医師に連絡すること。

眼に入った場合 直ちに少なくとも15分間まぶた(瞼)の裏側まで多量の水で洗うこと。 症状が続く場合には、医師に連絡すること。

飲み込んだ場合 無理に吐かせないこと。 口をすすぐこと。 意識のない者には、何も口から与えてはならない。 医師に連絡すること。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 高濃度の蒸気を吸入すると、頭痛、めまい、疲労、吐き気及び嘔吐のような症状を引き起こすおそれがある。 長期にわたり接触すると発赤及び刺激を引き起こすおそれがある。

医師に対する特別な注意事項 症状に応じて治療すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 現地の状況及び周囲環境に適した消火方法を用いること。

使ってはならない消火剤 情報なし。

特有の危険有害性 情報なし。

危険有害性燃焼生成物 炭素酸化物、 酸化ナトリウム。
特有の消火方法 提供された情報に基づき知見なし。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。 個人用保護具を使用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 こぼれた物質により滑る危険が生じる。 十分換気されているか確認すること。 指定された個人用保護具を着用すること。 人員を安全な区域に退避させること。

緊急対応を行う者のための保護具 項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。

環境に対する注意事項 環境影響情報の詳細情報については項目12を参照のこと。

封じ込め方法 吸収性のある素材(布、フリースなど)で拭いてください。。

浄化方法 こぼれると滑る危険がある。

二次災害の防止策 汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。

その他の情報 項目7及び項目8に記載されている保護措置を参照すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項 産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。 皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 汚染された衣類及び靴を脱ぐこと。 十分換気されているか確認すること。 蒸気又はミストを吸い込まないようにすること。 換気が不十分な場合、適切な呼吸用保護具を着用する。

衛生対策 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 休憩前及び製品の取扱い直後に手を洗うこと。

保管

安全な保管条件 施錠して保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策 シャワー
洗眼場
換気システム。

許容濃度

化学名又は一般名	日本産業衛生学会	労働安全衛生法 作業環境評価基準 - 管理濃度	ACGIH TLV
モリブデン酸ナトリウム 7631-95-0	-	-	TWA: 0.5 mg/m³ Mo respirable particulate matter

生物学的モニタリング指標 この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した生物学的制限値が設定された危険有害物質を一切含んでいない

環境ばく露防止 環境への放出を避けること。

保護具

呼吸用保護具 通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、

	換気及び排気が必要になる。
眼及び／又は顔面の保護具	サイド シールド 付き 保護眼鏡(又はゴーグル)を 着用すること。
手の保護具	適切な手袋を着用する。
皮膚及び身体の保護具	適切な保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的及び化学的性質に関する情報

外観	淡青色 粘稠な液体
物理状態	液体
色	淡青色
臭い	情報なし
臭いのしきい値	情報なし

特性	**値**	**備考 • 方法**
融点／凝固点	-15 °C / 5 °F	データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲	104 °C / 219.2 °F	データなし
可燃性		データなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界		データなし
爆発又は可燃の上限界		データなし
爆発又は可燃の下限界		データなし
引火点		データなし
蒸発速度		データなし
自然発火点		データなし
分解温度		データなし
pH	8	データなし
粘度		
動粘性率	60,000 cPs	データなし
動的粘度		データなし
水への溶解度		データなし
溶解度	水に可溶	データなし
n −オクタノール／水分配係数(log値)		データなし
蒸気圧		データなし
密度及び／又は相対密度		
相対密度	1.1 - 1.4	水 = 1
蒸気濃度		データなし
かさ密度		データなし
相対ガス密度	1	データなし
粒子特性		
粒径		該当しない
粒径分布		該当しない

その他の情報

爆発性	情報なし
酸化性	情報なし
VOC含有率	< 1.5%

10: 安定性及び反応性

反応性	通常の使用条件下ではない。
化学的安定性	通常の条件下で安定。
危険有害反応可能性	通常の条件下で安定。

避けるべき条件 提供された情報に基づき知見なし。

混触危険物質 提供された情報に基づき知見なし。

危険有害な分解生成物 提供された情報に基づき知見なし。

爆発データ
静電放電に対する感度 なし。

機械的衝撃に対する感度 なし。

11. 有害性情報

急性毒性

毒性の数値尺度 - 製品情報

以下の値はGHS文書の第3.1章に基づいて算出されている:

ATEmix(経口)	5,000.00 mg/kg
ATEmix(経皮)	50,050.00 mg/kg
ATEmix(吸入 −粉じん／ミスト)	150.60 mg/l

毒性の数値尺度 - 成分情報

化学名又は一般名	経口LD50	経皮LD50	吸入 LC50
プロピレングリコール	= 20 g/kg （Rat）	= 20800 mg/kg （Rabbit）	-
モリブデン酸ナトリウム	= 4000 mg/kg （Rat）	> 2000 mg/kg （Rat）	> 5.84 mg/L （Rat）4 h
ポリアクリル酸	= 2500 mg/kg （Rat）	> 2000 mg/kg （Rabbit）	> 5.1 mg/L （Rat）4 h

略語及び頭文字
Rat: ラット

症状 高濃度の蒸気を吸入すると、頭痛、めまい、疲労、吐き気及び嘔吐のような症状を引き起こすおそれがある。 長期にわたり接触すると発赤及び刺激を引き起こすおそれがある。

製品情報

経口 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。

吸入 眠気又はめまいのおそれ。

皮膚接触 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。 軽度の皮膚刺激。

眼接触 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。

皮膚腐食性／刺激性 成分に対して利用可能なデータに基づく分類。 軽度の皮膚刺激。

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 情報なし。

呼吸器感作性又は皮膚感作性 情報なし。

生殖細胞変異原性 変異原性が知られている又は変異原性が疑われる物質を含んでいる。 成分に対して利用可能なデータに基づく分類。 遺伝性疾患のおそれの疑い。

発がん性 発がん性が知られている又は発がん性が疑われる物質を含んでいる。 成分に対して利用可能なデータに基づく分類。 発がんのおそれの疑い。

下表は各機関が何らかの成分を発がん性として記載しているかを示す。

化学名又は一般名	日本	IARC
モリブデン酸ナトリウム 7631-95-0	2	-
ポリアクリル酸 9003-01-4	2	Group 3

凡例

国際がん研究機関

グループ3ーヒトに対する発がん性について分類できない

生殖毒性 情報なし。

特定標的臓器毒性(単回ばく露) 国又は地域で採用され、SDSが準拠している世界調和システム(GHS)の分類基準に基づき、この製品は急性のばく露に起因して全身標的臓器毒性を引き起こすと判定されている。 臓器の障害。 眠気又はめまいのおそれ。

血液系、 中枢神経系。

特定標的臓器毒性(反復ばく露) 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害。

中枢神経系、 呼吸器。 全身毒性、 精巣。

誤えん有害性 情報なし。

12. 環境影響情報

生態毒性

未知の危険有害性物質の濃度 混合物の 0 %は水生環境に対する危険有害性が未知の成分で構成されている。

化学名又は一般名	藻類／水生植物	魚類	甲殻類
プロピレングリコール - 57-55-6	EC50: =19000mg/L (96h, Pseudokirchneriella subcapitata)	LC50: =51600mg/L (96h, Oncorhynchus mykiss) LC50: 41 - 47mL/L (96h, Oncorhynchus mykiss) LC50: =51400mg/L (96h, Pimephales promelas) LC50: =710mg/L (96h, Pimephales promelas)	EC50: >1000mg/L (48h, Daphnia magna)
ポリアクリル酸 - 9003-01-4	–	LC50: =580mg/L (96h, Lepomis macrochirus)	–

残留性 ·分解性 情報なし。

生態蓄積性 情報なし。

成分情報

化学名又は一般名	分配係数
プロピレングリコール 57-55-6	-1.07
ポリアクリル酸 9003-01-4	0.27

土壌中の移動性 情報なし。

オゾン層への有害性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

他の有害影響 情報なし。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 現地の規則に従って廃棄すること。 環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。

汚染容器及び包装 空容器を再利用しないこと。

14. 輸送上の注意

日本 規制対象外

IMDG 規制対象外

MARPOL 73/78付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質
情報なし

IATA 規制対象外

15. 適用法令

国内規制

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)
該当する、 詳細情報については項目3を参照

労働安全衛生法

表示対象物質
法第57 条第1 項、施行令第18 条第1号、第2号 ·別表第9 及び第3号 ·別表第3
通知対象物質
法第57 条の2 、施行令第18 条の2 第1 号、第2 号別表第9 及び第3号 ·別表第3
危険性又は有害性等を調査すべき危険有害物
法第57 条の3

毒物及び劇物取締法
該当しない
消防法:
該当しない
化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)
下表は、記載されている、該当すると考えられるカットオフ値を超える成分を示す

化学名又は一般名	CAS番号	化審法
プロピレングリコール	57-55-6	優先評価化学物質
ポリアクリル酸	9003-01-4	優先評価化学物質

海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律
該当しない
水質汚濁防止法
人の健康もしくは生活環境に係る被害を生ずるおそれがある物質として水質汚濁防止法第2条及び水質汚濁防止法施行令第3条の3で定める指定物質
水道法
水道法第4条、法定水質基準
大気汚染防止法
大気汚染防止法第3条に排出基準が規定されている大気汚染物質
大気汚染防止法第2条、第4項で定める揮発性有機化合物
大気汚染防止法第2条、第1項、第3号及び大気汚染防止法施行令第1条で定める有害物質(HAP)

国際規制

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約 該当しない

ロッテルダム条約 該当しない

国際インベントリー
インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること

16. その他の情報

発行日 10-20-2023

改訂日 10-20-2023

改訂記録 第1 版。

安全データシートで使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例
凡例 8: ばく露防止及び保護措置

TWA	TWA(時間加重平均)	天井値	最大限界値
*	経皮吸収	+	感作性物質

本SDSの編集に使用した主要参考文献及びデータ源
米国環境保護庁ChemViewデータベース
欧州化学品局
欧州食品安全機関(EFSA)
EPA(米国環境保護庁)
急性ばく露ガイドラインレベル(AEGL)
米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法
米国環境保護庁高生産量化学物質
フードリサーチジャーナル (Food Research Journal)
危険有害性物質データベース
国際統一化学情報データベース(IUCLID)
製品評価技術基盤機構(NITE)
オーストラリア国家工業化学品届出審査機構(NICNAS)
NIOSH(米国労働安全衛生研究所)
米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP)
米国国家毒性プログラム(NTP)
ニュージーランド化学物質分類・情報データベース(CCID)
経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書
経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム
経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット
世界保健機構

免責事項
この安全データシートは、JIS Z 7253:2019 に準拠している。このSDSに記載されている内容は、発行日時点の知見、情報に基づき正確を期したものです。ここに記載されている情報は当該製品の安全な取扱い、使用、加工処理、保管、運搬、廃棄、漏えい(洩)時の処理など指針とすることのみを目的としたものであり、いかなる保証をするものではなく、また品質仕様ではありません。本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの材料と組み合わせて使用した場合、又は何らかのプロセスに使用した場合には、有効でなくなる場合があります。

安全データシートのおわり